

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	透析患者Peripheral Artery Disease(以下PAD)早期発見の活動による変化
研究責任者	聖隷浜松病院 臨床工学室 沖雄斗
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2026年 3月 31日
対象者	2021年5月から2024年9月までの間に当院外来維持透析通院患者
研究の意義・目的	透析患者さんの下肢血流障害の「早期発見」・「重症化予防」の取り組むことで、早期発見による患者さんのADL向上や、安静時の足の疼痛や潰瘍、壊死等の重症化による下肢切断に至る状況を回避し、患者さんの生命予後にも大きな変化を与えることができます。
研究の方法	① 当院腎センターの患者さんを抽出します。 以下②～④は2021年5月～2024年9月のデータを抽出。期間内データを取得し、経過フォローします。 ②年齢・性別・検査データ WBC、HbA1C、CRP、GA、主疾患名、合併症、身長、体重、BMI、 ③SPP値、下肢チェック(傷の有無、足背動脈触知)、現在の症状(下肢の冷感、痺れ、痛み)、セルフケア状況(足浴有無、マッサージ有無、爪切り方法)、キーパーソン、抗血小板薬有無、抗凝固剤有無、降圧剤有無(ARB有無)、高脂血症薬有無、造影CT(実施後のSPP値変化、症状の変化)末梢血管外科受診歴、EVT歴 ④研究期間内経過フォローによる下記の経過を調査 SPP値、Fontaine分類、下肢チェック(傷の有無、足背動脈触知)、下肢切断患者数、CLI移行した患者数、死亡数 上記よりPAD早期発見の活動による発症率の現状を分析します。 上記の患者さんデータは電子カルテまたは機密文書内で取り扱われます。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 透析科 (氏名)荒川真裕美 TEL:053-474-2222(代表) 透析科 9:00~17:00 平日